てんぐ新聞

'95.10.No.23
発行者 市岡田助
0883-88-5291

九月もあっという間に通りすぎた。ある日を境に吹く風も変ってきた。風が冷たく感じる様になってくると、なんとなく、気持も内向きになりがちで。

それにしても、あの法案が強行採決された事は特記しておくべきでしょう。早くも兵器産業が動きだしてるし、何かこら、どこかで着々と進んでいってるようで、寒々としてくる。

今日という日が突然やってくることはない。必ず昨日という過去の上か、次にやってくるので、今日の出来事は必然とも言える。起こるべきして起こったと。そして、明日も、今日という日を経びこえてはやって来ない。今日という日の出来事の上か、次に明日の出来事があるのも必然。すべてが繋っている。

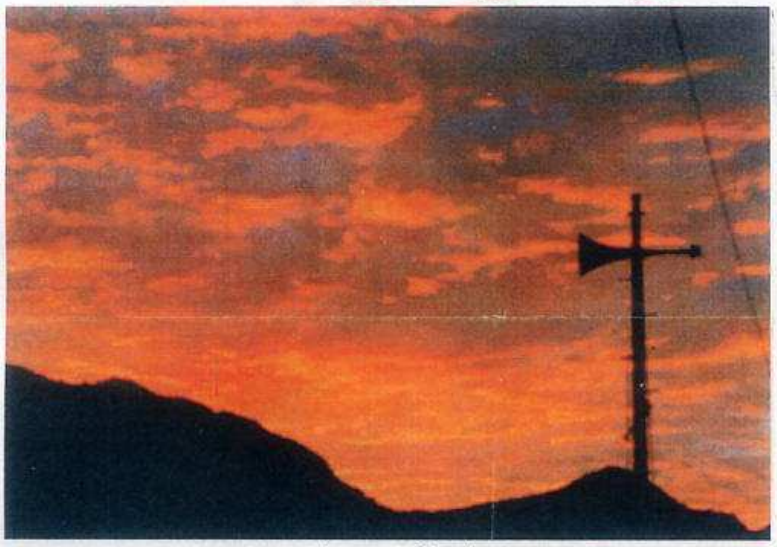
ただ、誰もその事を意識して日々生きている訳でもないけれら、「突然」の様に思う事も少なくないのが現実。

そんでも、あの法案、あれで

きのう 昨日

きょう 今日

あした 明日



暮らしの毎日。不便を楽しめる様になってきた。多くの人々と知りあいになり、様々のことを教わり続けている。ともすれば「生きざらい」田舎とも言われるが、人間関係が深くなり、よけいな事までわかることになったりして、人間不信になったりもするが、それでも、きょうを楽しみ、明日に希望をもてなかったら重苦しくなるので、自分の内面で否定しない、今日を楽しんでます。楽しい明日が来るようにと。

本当にいいのだろうか。

しターンして二年を、越えた。楽しい田舎

カモシカさん 減ってる?

ここ数年、カモシカの調査もやってます。が、私の実感としては「増えてる」。家の近くでよく見るし、〇〇で見たよという話も聞きます。

行政が、先日の新聞によると四国ではカモシカが減少しているそうです。

植物や畑の被害の犯人は、シカかカモシカかは断定出来ません。シカもカモシカもよく目撃しますが、どちらも、主に夜、活動する様なので、「食事中」を見ることは、なかなかないもんだ。だが、山深い場所では見る機会が減ってるようです。